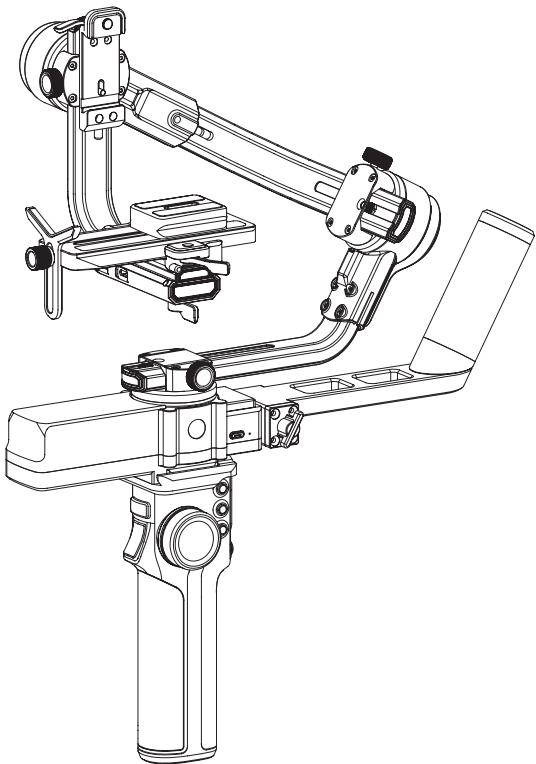




Manfrotto
Imagine More



取扱説明書

MVG300XM

目次

1. 製品概要	2
2. 準備	5
2.1 充電	5
2.2 三脚の取り付け	5
2.3 ハンドル（リモコン）の取り付け	6
2.4 多目的ハンドルの取り付け	6
2.5 ポジションロック	6
3. カメラの取り付け	7
3.1 クイックリリースプレートとサポートブロックの取り付け	7
3.2 レンズホルダーの取り付け	8
3.3 ジンバルへのカメラ取り付け	8
4. ジンバルのバランス調整	10
4.1 ティルト軸のバランス調整	11
4.2 ロール軸のバランス調整	12
4.3 パン軸のバランス調整	12
5. 電源のオン/オフ & ウェイクアップ	13
5.1 電源のオン/オフ	13
5.2 ロックとロック解除	14
5.3 スタンバイ & ウェイクアップ	14
6. 機能/モードの概要	14
6.1 フォローモードの概要	14
6.2 その他の機能の概要	15
7. アプリの接続	16
8. 操作	18
8.1 ボタンの操作	18
8.2 リモコン	22
8.3 USB ポート	25
8.4 タッチスクリーンの概要	26
8.5 各種機能の操作	27
8.6 ファームウェアの更新	34
免責事項	35

概要

MVG300XMは、DSLRおよびミラーレスカメラ専用のプロ用3軸ジンバルで、市販されている多くの一般的なカメラに対応しています。付属の多目的ハンドルを装着すると、片手撮影やローイング撮影時に便利です。また、付属の三脚を装着すると、自立させることができます。

MVG300XMにはファンクションボタンとLCDタッチスクリーンがあり、ジンバルの動作モードの切り替え、回転制御、パラメータ設定を片手で行えるようになっています。付属のカメラシャッターケーブルを使用すると、写真や動画の撮影、フォローフォーカス操作をジンバルで直接行うことができます。



Manfrotto Gimbal 300XMアプリをダウンロードしてください





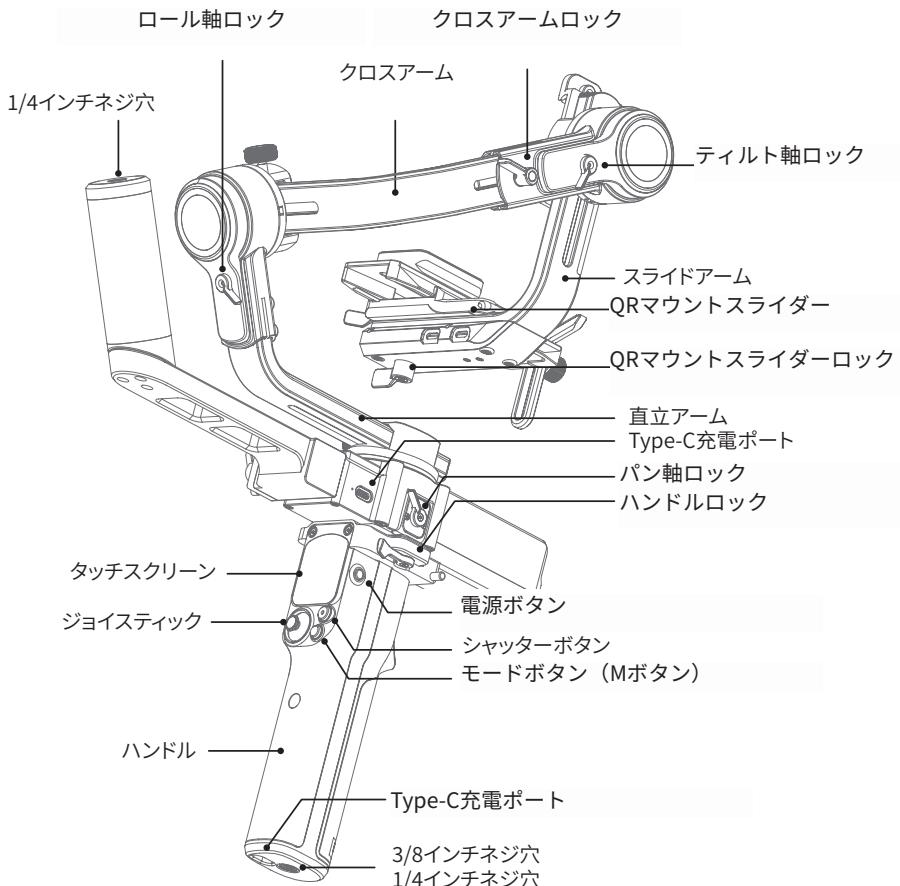
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

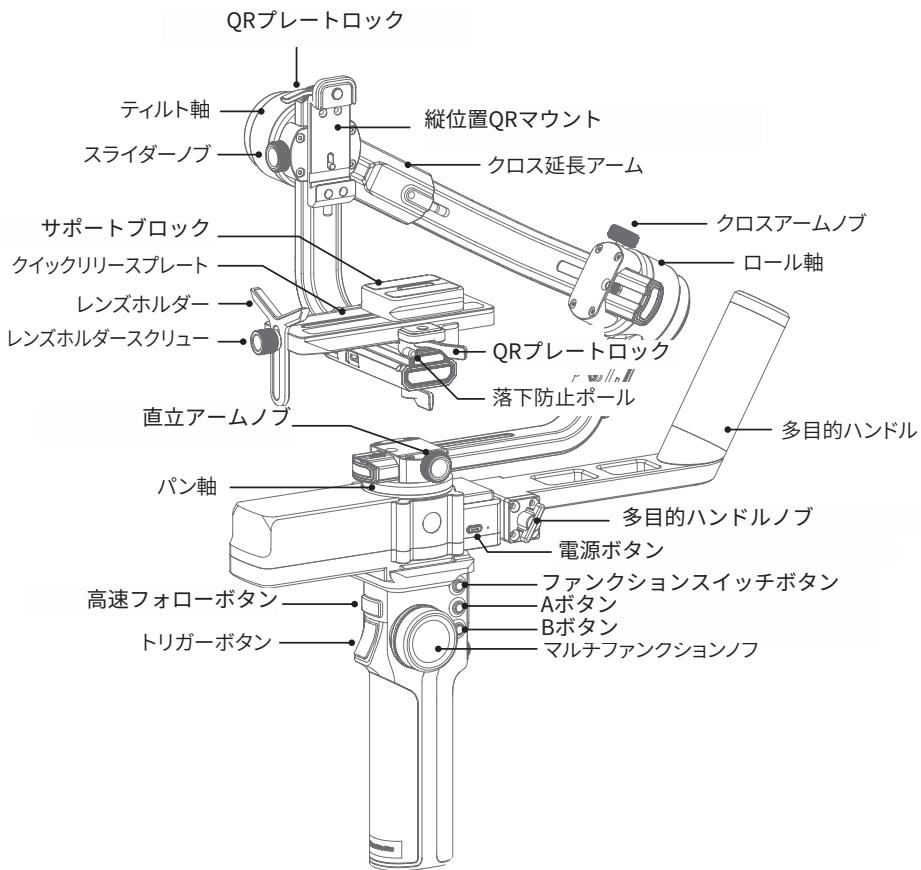
ヒント

- (1) ジンバルの電源を入れる前に、カメラを取り付けてください。
- (2) ジンバルとハンドルは、それぞれ電源をオフにしてから接続または分離してください。
- (3) バッテリー残量が少ない場合は、ジンバルを充電してください。
- (4) 長期間使用しない場合は、ジンバルの電源をオフにしてください。

1. 製品概要

DSLR（デジタル一眼レフカメラ）とミラーレスカメラ用に設計された、プロ仕様のタッチスクリーン付き多機能3軸ジンバルです。





仕様

最大ティルト角	340°	重量	約2000g
最大ロール角	340°	耐荷重	3,4 kg ^①
最大パン角	360°	バッテリー駆動時間	約10時間 ^①
ティルトフォロー速度	2°/s～75°/s	バッテリー容量	2500mAh
パンフォロー速度	3°/s～150°/s	充電時間	>2.6時間、急速充電可 (≤18W)

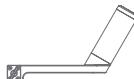
互換性
カメラ^② Sony、Canon、Nikon、Panasonicなど

①重心のバランスがとれた状態

②対応カメラおよび対応レンズ一覧を参照ください。

* 本製品にはカメラは含まれていません。

付属品

			
USB 2.0 - Type-C ×1	Type-C - Micro (A03) ×1	Type-C - Mini (B02) ×1	Type-C - Type-C (C02) ×1
			
Type-C - TRS2.5 (T02) ×1	Type-C - Sonyマルチ端子 シャッターケーブル ×1	Type-C - 2.5mm Panasonicシャ ッターケーブル (DC2.5mm) ×1	
			
多目的ハンドル ×1	三脚 ×1	クイックリリースプレート ×1	サポートブロック ×1
			
レンズホルダー ×1	レンズホルダー用ねじ ×1	クイックリリースプレート ショート (GimBoom) ×1	クイックリリースプレ ートショート用ねじ ×1
			
カメラ固定用ねじ x3	3/8"-1/4"変換ねじアダプタ - (三脚に付属) ×1		

2. 準備

2.1 充電

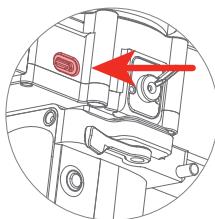


初めて使用する前に、ジンバルを完全に充電してください。

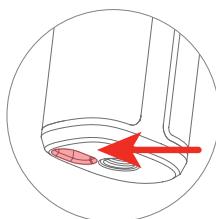
バッテリー残量が非常に少ない場合は、直ちに充電することをお勧めします。

USB 2.0 - Type-Cケーブルを使用すると急速充電を行えます。

① ② 両方の充電ポートで同時に充電できます。



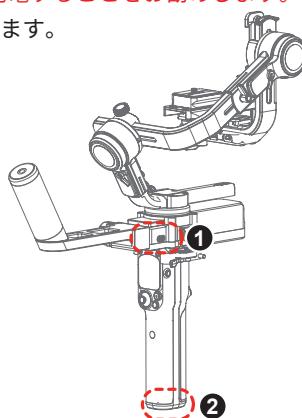
①



②

ジンバルとハンドルが接続されている場合、両方が充電されます。接続されていない場合はジンバルのみ充電されます。

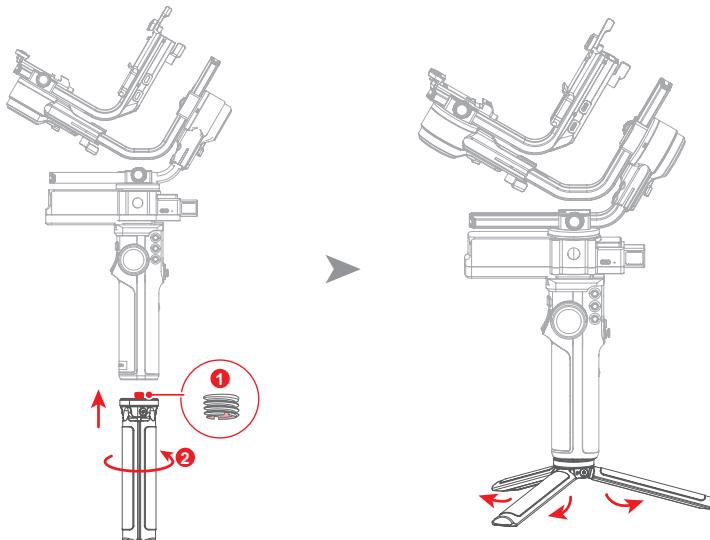
ハンドルの充電のみ



①
②

2.2 三脚の取り付け

三脚の上部にある1/4"ねじに3/8-1/4"変換ねじアダプターを取り付けます（ねじアダプターは出荷時には取り付けられています）。ジンバルまたはハンドルの底部に三脚を取り付け、三脚を展開してジンバルを平らな面に置きます。

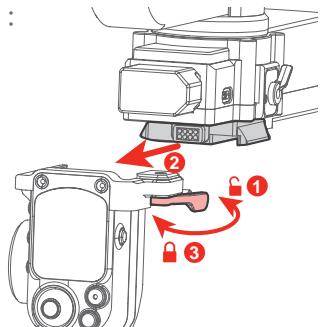


2.3 ハンドル（リモコン）の取り付け

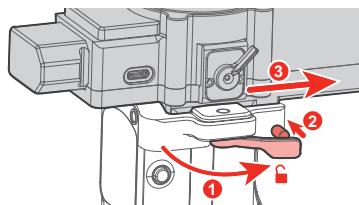
ジンバルヘッドの底部にある金属接点をハンドルに向かってスライドさせ、対応する溝を入れた後、ハンドルロックをかけます。

ハンドルを外す場合は、ハンドルロックを解除し、落下防止カラムを解放してから、ジンバルをゆっくりと押し出します。

取り付け：



取り外し：

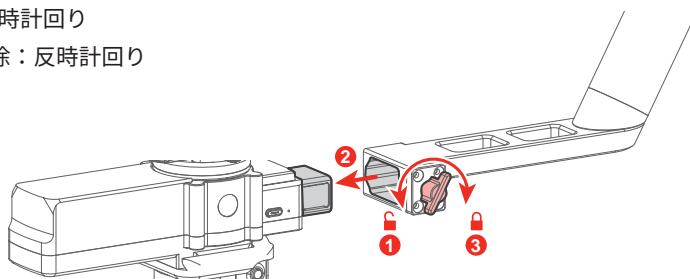


2.4 多目的ハンドルの取り付け

多目的ハンドルのねじを緩め、（図のように）多目的ハンドルをジンバルのベースに挿入してからねじを締めます。

锁定：時計回り

锁定解除：反時計回り



2.5 ポジションロック

3つの回転軸にはそれぞれ、位置調整や収納に便利なポジションロックが備わっています。

ジンバルはデフォルトでは折りたたんだ状態です。ティルト軸、ロール軸、パン軸のロックを解除し、ジンバルをバランスロックポジションに調整してから（図2.5-1を参照）、3つの軸をロックします。



ジンバルを使用する前に、必ずポジションロックを解除してください。

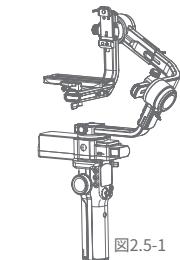
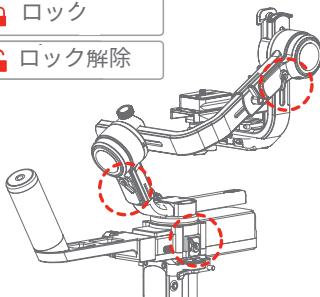


図2.5-1
バランスロックポジション

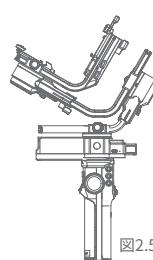


図2.5-2
ストアロックポジション

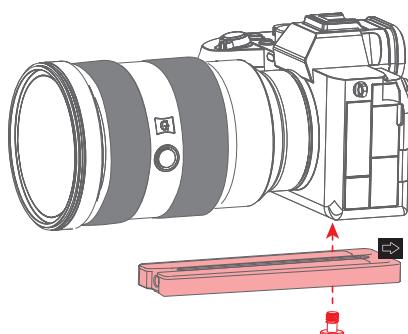
3. カメラの取り付け

カメラを取り付ける前に、カメラの撮影準備をしてください（カメラにレンズを取り付け、レンズキャップを取り外します。さらに、メモリカードとバッテリーがカメラに挿入されていて、バッテリーが完全に充電されていることを確認します）。そして、第2章「準備」に記載されているすべての手順を実行し、ジンバルがバランスロックポジションに調整されていることを確認します（図2.5-1を参照）。カメラを取り付ける前に、ジンバルの電源がオフになっているか、スリープモードになっていることを確認してください。

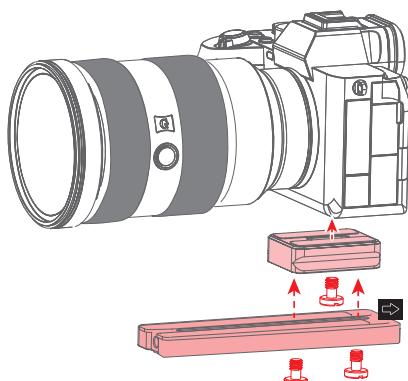
3.1 クイックリリースプレートとサポートブロックの取り付け

ねじを締めて、クイックリリースプレートをカメラに取り付けます。

場合によっては、サポートブロックを取り付けることもできます（長いレンズまたは重いレンズを使用する場合など）。まず、サポートブロックをカメラに取り付け、その後で2本のねじでクイックリリースプレートに取り付けます。



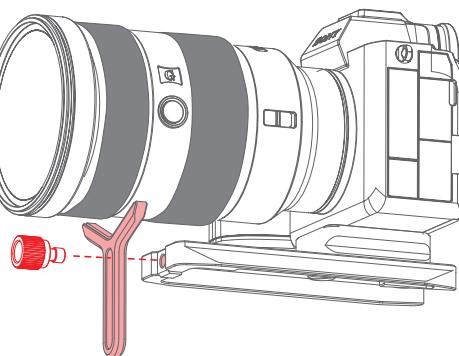
クイックリリースプレートのみを取り付ける場合



サポートブロックとクイックリリースプレートを取り付ける場合

3.2 レンズホルダーの取り付け

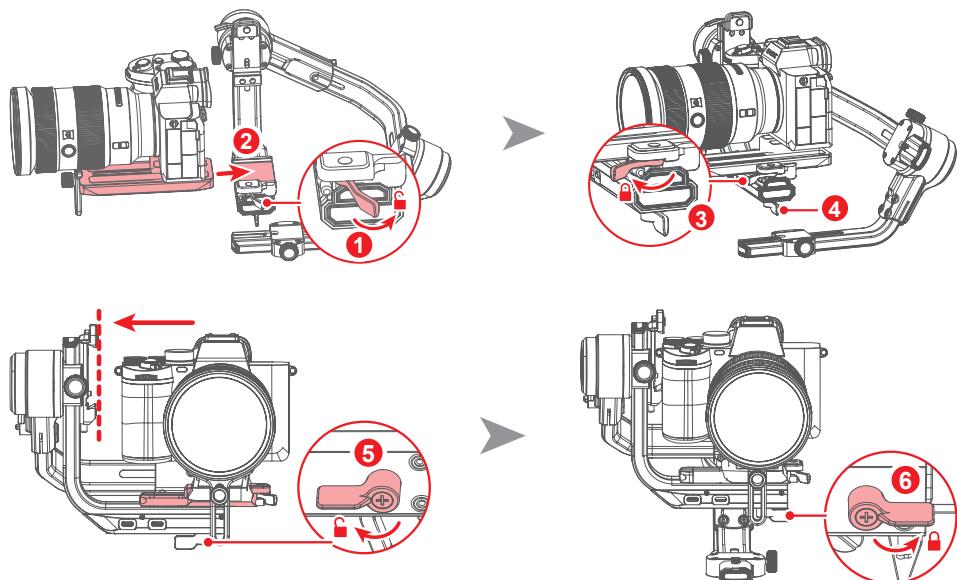
必要に応じてレンズホルダーをクイックリリースプレートに取り付けます。レンズホルダーのラバーマウントがレンズの真下にくるようにしてください。長いレンズや重いレンズを使用する場合には、レンズホルダーの使用をお勧めします。



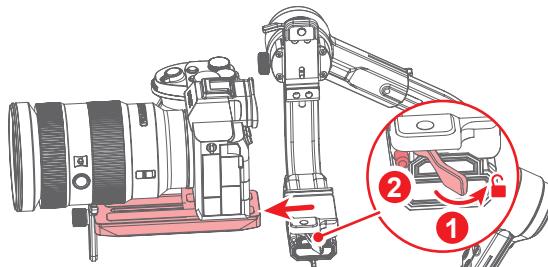
3.3 ジンバルへのカメラ取り付け

横位置に取り付ける場合

QR プレートロック①を解除し、カメラを取り付けたクイックリリースプレートを矢印の方向に沿って QR マウント②に挿入します。カメラのバランスが大まかにとれたら、QR プレートをロックします③。QR マウントライダースライダーの位置は、カメラのサイズに応じて調整できます④。QR マウントライダーロック⑤を解除して、カメラを左または右へスライドし、ロックを閉じます⑥。カメラはできるだけティルト軸に近づけることをお勧めします。

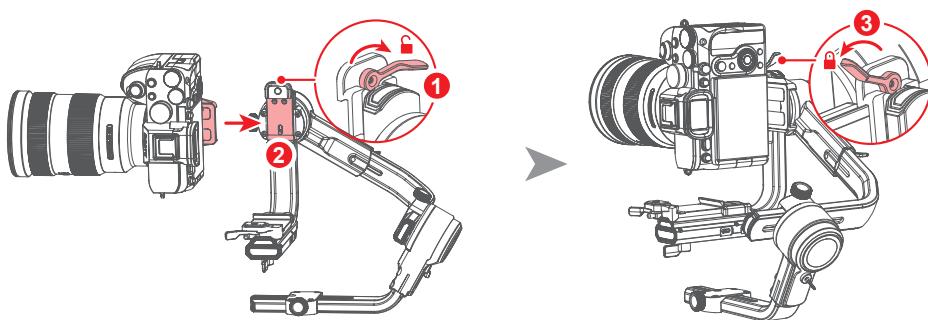


取り外すには：QR プレートロック①を解除し、落下防止カラム②を押しながらクイックリリースプレートを取り外します。

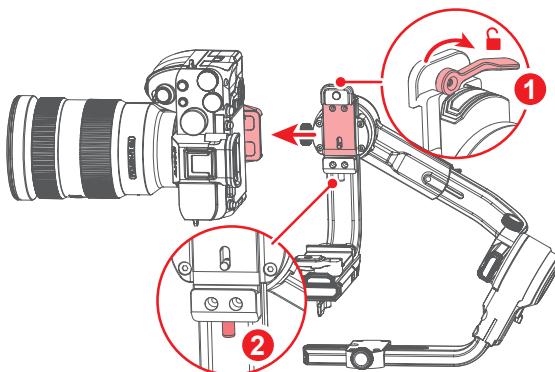


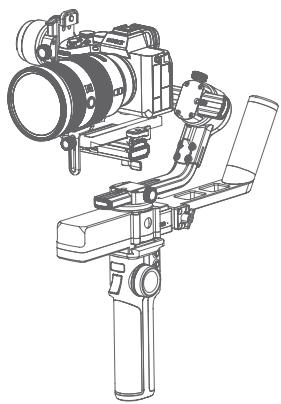
縦位置に取り付ける場合

縦位置 QR マウント②の QR プレートロック①を解除し、カメラを取り付けたクイックリリースプレートを挿入します。カメラのバランスが大まかにとれたら QR プレートをロックします③。

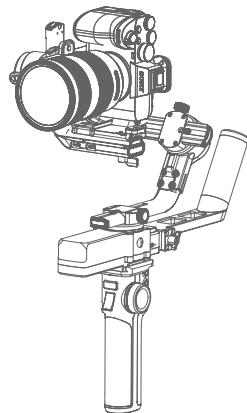


取り外すには：QR プレートロック①を解除し、落下防止カラム②を押しながらクイックリリースプレートを取り外します。





横位置に取り付けた場合



縦位置に取り付けた場合

4. ジンバルのバランス調整



ジンバルのバランスを調整する前に、まずジンバルをバランスロックポジションでロックしてから、各軸のロックを徐々に解除してください。

ヒント

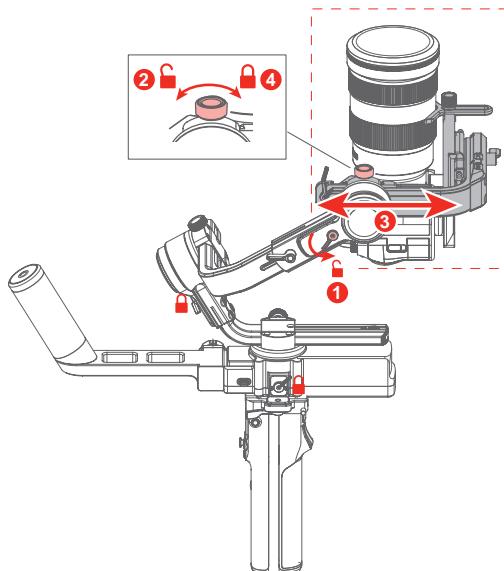
- (1) レンズキャップをカメラから外し、メモリカードを挿入して、すべての接続を行ってください。これにより、カメラで写真を撮る準備が整います。
- (2) バランス調整を行う際は、カメラとジンバルの電源をオフにしてください。
- (3) ジンバルのバランス調整後に付属品を追加した場合は、ジンバルのバランス調整をやり直す必要があります。
- (4) 標準バランスモード：カメラがどの角度でも安定する状態
- (5) カメラを支えながらスライドアーム、クロスアーム、直立アームを動かすことをお勧めします。

例として、水平方向のバランス調整について説明します。

4.1 ティルト軸のバランス調整

4.1.1 スライドアームの調整

- ① ティルト軸ロックを解除し、カメラのレンズを上に向けます。
- ② スライダーノブを緩めます
- ③ スライドアームをスライドさせてバランスを調整し、どの角度でもカメラが最初の位置から動かないようにします。
- ④ スライダーノブを締めます。



4.1.2 クイックリリースプレートの調整

- ① カメラレンズを前方に押し、QRプレートロックを解除します。
- ② カメラのバランスポジションまでクイックリリースプレートを移動させます。
- ③ クイックリリースプレートをQRプレートロックでロックします。

